

# 帰国後技能実習生のフォローアップ・アフターケア等に関する取組好事例

外国人技能実習機構

## 岐阜県 A実習実施者

【実習生の国籍】中国  
【実習生の職種】機械加工

【ポイント】 ✓母国で修得することが困難な技術等を復職後、仕事に活用し会社の生産性向上に寄与

復職後、ロボット導入及び特殊ねじ加工の立ち上げに貢献

機械要素部品メーカーのB社ではグローバル人材の育成及び技術移転のために中国の子会社から実習生を受け入れている。2019年末、中国工場で協同作業用ロボットを導入した際には、復職した元実習生が日本で修得した技術を活かし、材料を置くパレットやロボットハンド部の爪の設計に関わり、スムーズな立ち上げを実現することができた（写真①）。自動化ロボット導入の際も技能実習で学んだプログラミング技術を応用して、プログラムの細かな調整や加工指示などを通し、迅速な立ち上げに貢献した（写真②）。

また、中国工場でも生産を始めることになった特殊ねじに関しても、刃具の選択、主軸回転数、送り量、切削量という重要な加工要素についての知識や技能を十分に活かし、クライアントの要求に応えた加工を行って成功を収めている（写真③）。

実習で学んだ5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を中国の工場で推進

元実習生は、日本で学んだ5Sの改善について多くの実践を行った。職場全体、操作ガイド、倉庫棚、治工具の配置など多岐にわたる。職場環境を改善するだけでなく、社員に改善意識をもってもらうこともできたので、まずは第一歩が踏み出せたと実感している。5S活動には終わりはなく、この改善の意識を堅持しながら、社員の習慣にしていきたいと考えている。

写真①



協同作業用ロボット

写真②



自動化ロボット

写真③



特殊ねじ加工